



第4回地域包括ケア推進会議 協議事項

日時：平成30年2月14日（水）18：30～

場所：文化センター 4階 大会議室

資料構成

- 1 地域包括ケア（システム）とは
- 2 前回の主な意見
- 3 本人の選択と家族の心構え
- 4 すまいとすまい方
- 5 介護予防・生活支援
- 6 医療・看護・介護・リハビリ・
保健福祉





私たちが目指す姿

誰もが、住み慣れた地域や自らが望む場で暮らし続けることができる まちづくり・地域づくり

「誰もが」とは……

高齢者だけでなく、認知症になっても障がいのある方も、子育て世代も、子どもたちも、文字通り、「誰もが」です。

「まちづくり・地域づくり」とは……

保健医療福祉だけではなく、教育や経済分野など、様々な分野が関わるものです。

そのために、「つながる」

共有
・
顔の見える
関係

地域で、在宅で暮らすを、あきらめない。
地域で、在宅で暮らす「限界点を高める」

いわきの包括ケアとは、
「つながる・いわき」ということです。

支える側と支えられる側の垣根を低くする。

本人や家族の目線から見る

「小さく生んで、大きく育てる」
(スモールスタート)という考え方、
「小さな取組みを、広めていく」
という考え方で進めます。

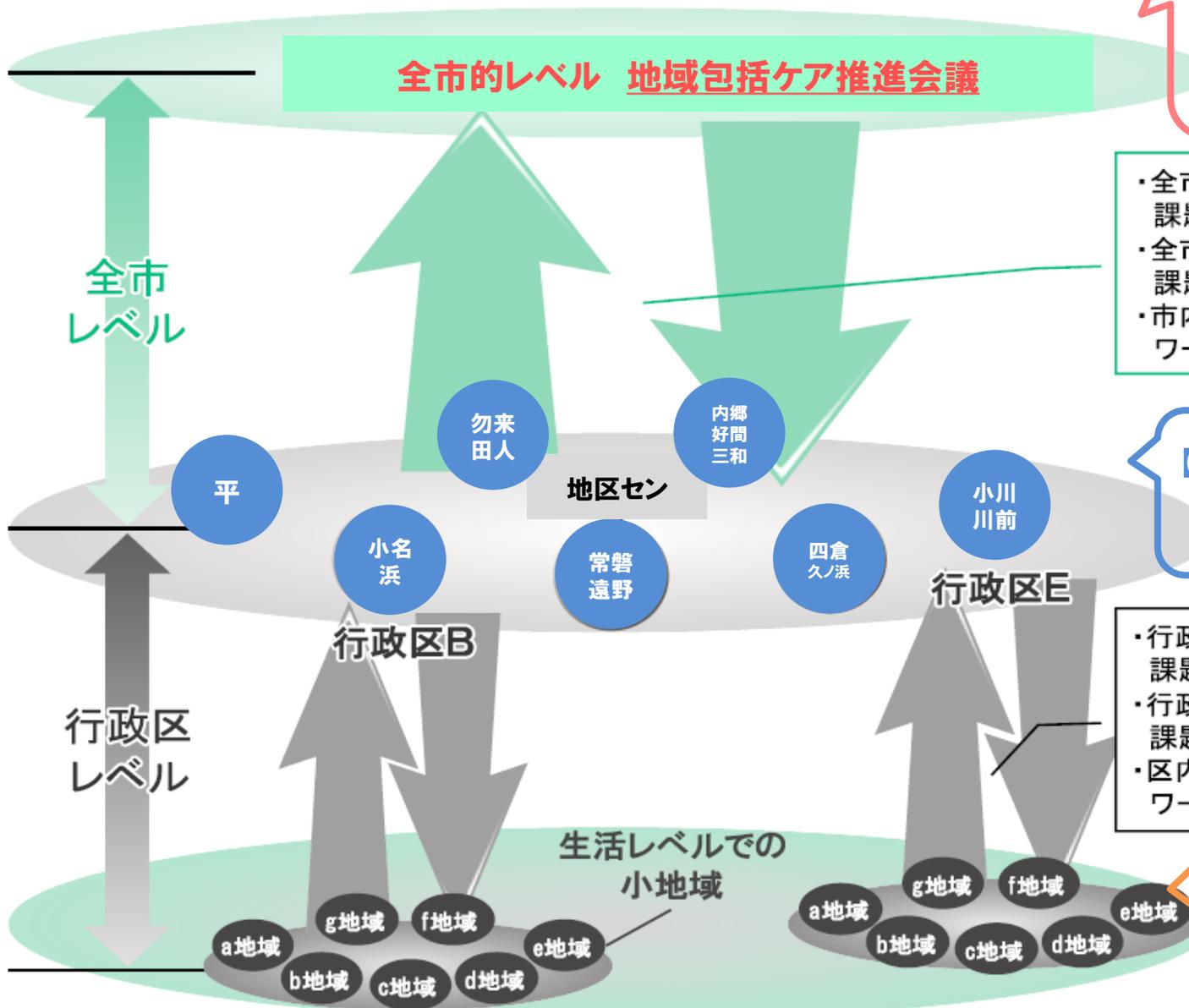
必要に応じて、適宜、
改良・見直していきます。

つながる
ために、

情報発信
・
見える化



図表 階層的なマネジメント体制の構築（イメージ）



【作業部会】

- ①健康と生きがいづくり
- ②生活安全(認知症)
- ③医療と介護連携
- ④住まいの部会(今年度新設)

- ・全市レベルの情報収集や地域課題の把握
- ・全市レベルの地域目標や地域課題の共有
- ・市内の関係者間の調整、ネットワークの構築支援等

【中地域ケア会議】

支所・地区セン圏域
※地区センター対応

- ・行政区レベルの情報収集や地域課題の把握
- ・行政区レベルの地域目標や地域課題の共有
- ・区内の関係者間の調整、ネットワークの構築支援等

【小地域・個別ケア会議】

- ①中学校区 ②小学校区
- ③徒歩圏域
- ※包括支援センター対応 3



平地区

第1回：9月7日開催
 第2回：12月7日開催
 第3回：1月11日開催
 第4回：3月8日予定

＜主な検討・取組事項＞

- 平地区の高齢者の生活状況等の分析
- 事例検討

小名浜地区

第1回：6月21日開催
 第2回：9月6日開催
 第3回：11月29日開催
 第4回：検討中

＜主な検討・取組事項＞

- 学び舎-おなはま-
- 認知症部会
- 在宅医療出前講座
- 各種団体事業報告
- つどいの場

勿来・田人地区

第1回：6月19日開催
 第2回：9月29日開催
 第3回：検討中

＜主な検討・取組事項＞

- 移動手段検討
- 介護施設等空床情報提供
- 医療・介護・健康フェア
- 認知症サポーターの活用

常磐・遠野地区

第1回：9月28日開催
 第2回：2月15日予定

＜主な検討・取組事項＞

- 各部会の取組み状況と今後の活動について
- 常磐・遠野いきいき健康塾について

内郷・好間・三和

第1回：7月24日開催
 第2回：11月27日開催
 第3回：1月29日開催

＜主な検討・取組事項＞

- 生活状況・生活課題把握に向けた調査について
- 認知症ケアパスについて
- 認知症地域相談窓口
- 介護塾の実施状況及び次年度の開催について

四倉・久之浜大久

第1回：5月31日開催
 第2回：2月7日開催

＜主な検討・取組事項＞

- オレンジカフェ
- よつくら塾
- 医療・介護・防災フェスタ
- 食に関するアンケート
- 今後の取組みについて

小川・川前地区

第1回：9月26日開催
 第2回：検討中

＜主な検討・取組事項＞

- 川前地区高齢者支援ネットワーク連絡会
- 小川寺子屋
- 住民支え合い活動づくり事業

参考資料 1



高齢者生活安全部会

- 第1回：9月20日 開催
- 第2回：12月6日 開催
- 第3回：1月31日 開催

<主な検討・取組事項>

- 認知症あんしんガイドver.2.0について
- 認知症初期集中支援チームの拡充について
- （仮称）認知症サポーター上級講座について

健康と生きがいづくり部会

- 第1回：7月25日 開催
- 第2回：8月29日 開催
- 第3回：9月27日 開催
- 第4回：1月31日 開催

<主な検討・取組事項>

- 一般介護予防事業の効果検証について

医療と介護連携促進部会

- 第1回：10月25日 開催
- 第2回：1月23日 開催
- 第3回：3月28日 予定

<主な検討・取組事項>

- 在宅医療・介護連携推進事業の取組み状況
- 中地域ケア会議等における取組み状況
- 情報共有の支援について
- 在宅医療・介護連携相談支援センターについて
- 医療と介護資源の把握について
- 医療と介護連携推進に係る課題の整理について

住まいの部会（今年度新設）

- 第1回設置準備会：9月13日 開催
- 第2回設置準備会：12月6日 開催
- 第3回設置準備会：2月8日 開催
- ※今後の予定については検討中

<主な検討・取組事項>

- 身元保証について



前回(第3回)の主な発言要旨

1 虐待対応・権利擁護

- ・啓発などについてどのような取り組みを行っているのか？

2 介護予防

- ・介護予防ケアマネジメント支援会議によって、対象者の状態がどのような変化があったのかその後のアフターフォローも明らかにしていきたい。

3 つどいの場×住民支え合い

- ① つどいの場の介護予防効果のみに着目するのではなく、住民支え合いへつなげる。
- ② 社協と市が連携して、支え合いの活動の創出の今後について

4 認知症

- ・初期集中支援チーム、初期段階の方へのファーストタッチを迅速にし、重度化を防ぐのが本来の目的だが、実際に対応しているのは、かなり重度化した方ばかり。





前回発言
ポイント1

権利擁護の啓発について

保健福祉課



虐待予防・対応に関する啓発等

	市民向け	支援者向け
共通	<ul style="list-style-type: none">・ 出前講座の実施・ 研修の場への講師派遣	<ul style="list-style-type: none">・ 民協定例会の場を活用しての説明会の実施・ 施設等従事者向け研修会の実施・ 研修の場への講師派遣
高齢者虐待	<ul style="list-style-type: none">・ パンフレットの作成、配布・ パンフレットを活用しての説明会の実施（※主に包括が実施）	<ul style="list-style-type: none">・ 介護支援専門員向け研修会の実施・ 行政及び包括職員向け研修会の実施
障がい者虐待	<ul style="list-style-type: none">・ 本人向けパンフレットの作成、配布・ 一般向けパンフレットの作成、配布・ 本人向けスキルアップセミナーの開催	<ul style="list-style-type: none">・ 相談支援専門員向け研修会の実施・ 行政職員向け研修会の実施



成年後見制度に関する啓発等

市民向け	支援者向け
<ul style="list-style-type: none">• 権利擁護講演会の実施• 出前講座の実施• 障がいをもつ子を持つ親の会向け研修会の実施• 市民後見人養成講座等の実施• 本人向けパンフレットの作成、配布• 一般向けパンフレットの作成、配布	<ul style="list-style-type: none">• 介護支援専門員、相談支援専門員向け研修会の実施• 行政及び包括職員等向け研修会の実施• 法人後見従事者養成研修の実施• 研修の場への講師派遣



普及啓発に向けての取組み全体像

① (直接) 体験・学習

健康いきいき塾
小川寺子屋など

常磐・四倉・小川・
内郷・小名浜で
月1~2回開催

医師会出前講座

・
つどいの場への
専門職の派遣

健康フェア
・
劇

オレンジカフェ

いごくフェス2018
(2/3 アリオス中劇場)

② 情報媒体

フェイスブック
(随時発信)

WEBサイト
(9月開始)

フリーペーパーなど
紙媒体
(12月創刊・今年度は
年2回発行予定)



医療介護いわき学校について

地区	名称	平均参加者数	頻度	今年度開催数
小名浜	学び舎 おなはま	15名	随時	2回
常磐・遠野	常磐・遠野 いきいき健康塾	30名	月1、2回	13回
内郷・好間・三和	内郷・好間・三和 介護塾	18名	随時	8回
四倉・久之浜大久	よつくら塾	30名	月1回	10回
小川・川前	小川寺子屋	30名	月1、2回	17回

【今後の展開】

医療介護いわき学校に参加することで、専門的な知識を得られた住民の方々に、その地域におけるリーダーの役割を担っていただき、圏域全体の意識醸成に結びつけたい。

※勿来・田人地区は、フェアを今年度予定していたが、勿来市民会館の空調の不調により、次年度へ延期

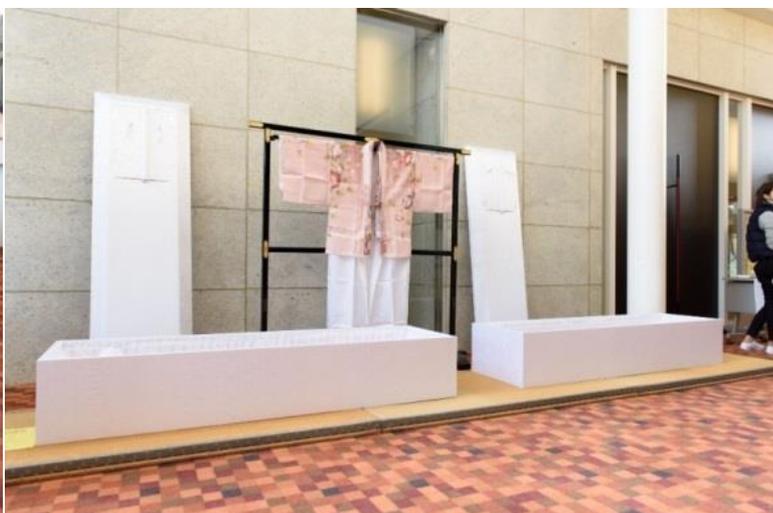


笑って、体験して、前向きに“最期”を考えよう、フェス！ 2/3開催！



参考資料3















第3回住まい部会設置準備会

【日時】

平成30年2月8日（木）
10時00分～11時30分

【出席者】

- 葬斎業者
- 清掃業者
- 医療関係者
- 介護関係者
- 福祉関係者
- 行政関係者

【内容】

- 身元保証について
 - ・入居（入所）支援
 - ・入院支援
 - ・葬送支援
 - ・契約後支援 等



【今後の予定】

- NPO法人「地域福祉ネットワークいわき」で既に実施している入居、入所等の事業を基本に、新たな事業展開を検討していく。
事業構築にあたり、様々なリスクを想定しつつ、幅広い関係団体からの理解や協力が得られるよう、持続可能、かつ透明性を確保した仕組みづくりを目指す。



【主な発言要旨】

- ・ 財源として、協賛金を募る場合、その用途を明確にし、透明性のある運営に努める必要があるため、運営協議会のような場を設けてもよいか。
- ・ 事業を持続的なものとするためには、広報に力を入れていく必要があり、広報面に対する行政の関わりが非常に重要と考える。
- ・ 葬斎ひとつをとっても、これまでになつたような形のものが、各地で生まれているので、情報収集に努める必要がある。
- ・ 地区保健福祉センターや地域包括支援センターなどが関わっているケースの検証から、身元保証に係る様々なリスクを想定していくことができる。
- ・ 医療費まで保障するとなると、かなりの金額が必要となり、リスクが非常に高いと想定されることから、保障の範囲は精査する必要がある。
- ・ 協力いただく団体については、協賛金の拠出のみではなく、事業自体へ主体的に参画してもらう必要があるだろう。
- ・ 契約行為が全ての基本になると思われるが、そもそも契約できるだけの判断能力のない方、精神障がい者、知的障がい者などについては、成年後見制度の活用も視野に入れて対応していく必要がある。





つどいの場の現状について

	これまで (H29.3)	前回 (H29.12)	今回 (H30.1)
つどいの場の数	340ヶ所	397ヶ所	<u>399ヶ所</u>
参加実人数	6,000人	6,670人	<u>6,715人</u>

※多様なプログラム活用団体**約170**団体中、医療介護リハ専門職派遣：**105**件



つどいの場の参加者の認定状況について

区分	つどいの場		いわき市平均※	
調査者数	2,000人		2,000人	
認定者数	368人	<u>18.4%</u>	404人	<u>20.2%</u>
要支援 1	111人	5.6%	37人	1.9%
要支援 2	105人	5.3%	57人	2.9%
要介護	152人	<u>7.6%</u>	310人	<u>15.5%</u>
平均介護度	<u>0.91</u>		<u>2.16</u>	

(※ いわき市平均2,000人は、つどいの場と単純比較するため便宜的に置いています。)



介護予防マネジメント支援会議

10月から開催！

高齢者の生活行為の課題等を明らかにし、自立支援に資するケアプラン作成と支援を行うため、多職種からの専門的な助言を活かしたケアマネジメントを実施するもの。

アドバイザー職種

医師、薬剤師、OT、PT、ST、歯科衛生士、管理栄養士、地域包括支援センター

【目的】

自立支援・介護予防の観点を踏まえて、「要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すこと」「高齢者のQOLの向上」を目指す。

【効果】

高齢者の生活の質の向上に加え、

- (1) 専門職としてのスキルアップ
- (2) ケアマネジメントやケアの質の向上
- (3) 参加者によるネットワークの構築

※ 1/29から公開会議開始！！

【会議の開催状況】

○ **13回**

(10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27,12/4,12/11,12/18,12/25,1/15,1/29,2/5)

○ **42ケース**



ケアマネジメント支援会議

第1回本格実施

10月23日 18:00～21:30 場所:総合保健福祉センター

3ケースについて、ケアプラン及びプログラム実施についての多角的な検討と助言を頂く。



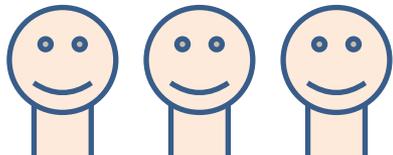


ケアマネジメント支援会議

前回発言
ポイント2

支援会議
昨年10月開始

44件実施(2月13日時点)



アドバイザー



事例提供者

プランに対するアドバイスを
事例提供者からの相談

改善・卒業

(3~6ヶ月後)
モニタリング
再アセスメント

維持・悪化

つどいの場

セルフケア

延長・継続

支援会議の再実施



健康と生きがいづくり部会の開催状況・協議内容

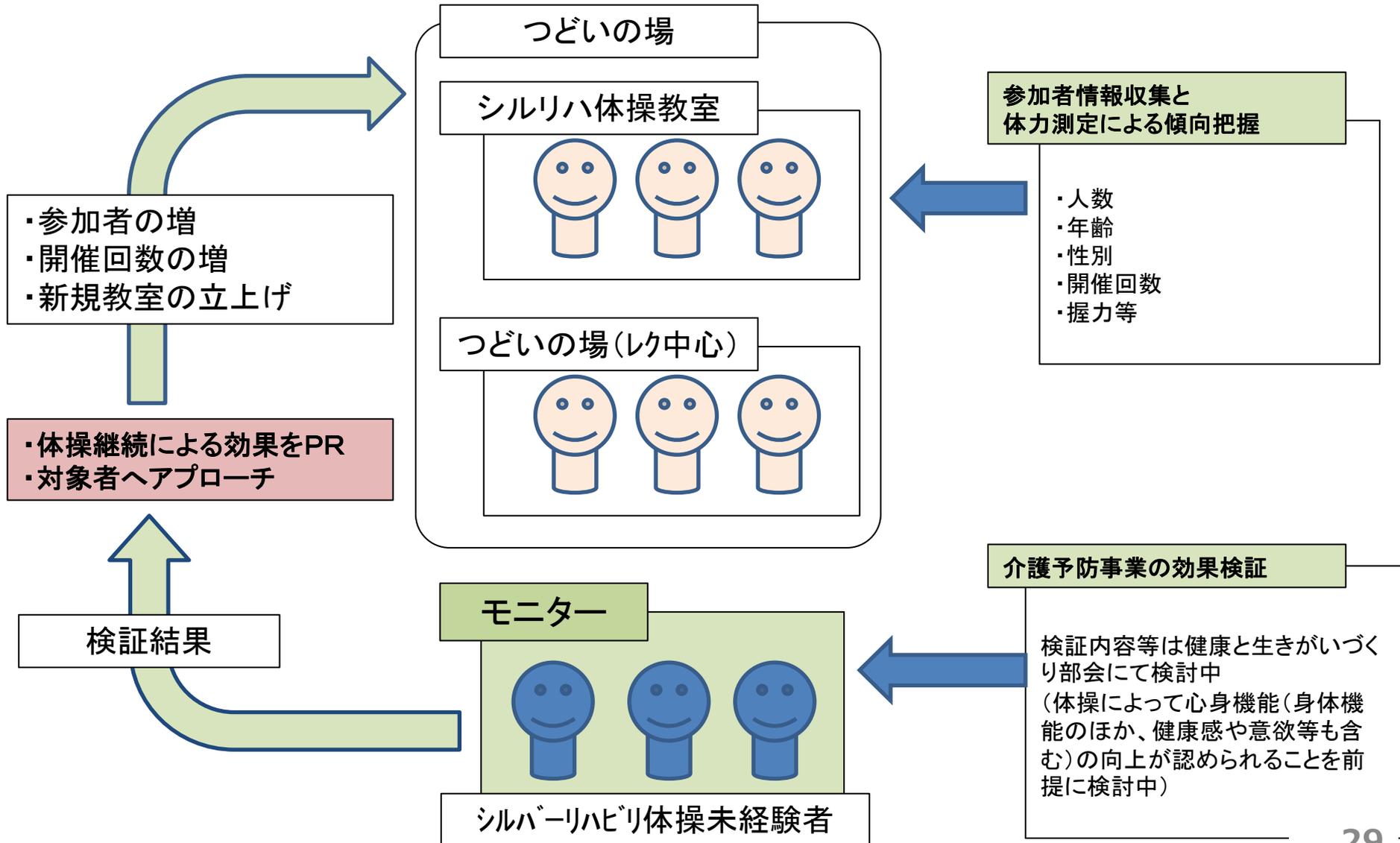
【第4回会議】

- 1 日程：平成30年1月31日（水）
- 2 内容「一般介護予防事業の効果検証の指標及びその方法について検討」
 - (1) 一般介護予防事業の現状
 - ・つどいの場における国の指標は、「**高齢者が容易に通える範囲**」で「**体操は週1回以上**」となっている。
 - ・本市の現状はシルバーリハビリ体操教室が約230ヶ所あるものの、「**歩いて通える範囲に体操教室がない**」「**月開催回数平均2.3回**」「**参加者が減少**」等の課題あり。
 - ・現在、シルバーリハビリ体操教室で体力測定を実施中。
 - ・しかし、体力測定は参加者の「特徴」や「傾向」は把握できるが、体操の効果ははかれないことから、別途検証する必要あり。
 - (2) 効果検証の目的
シルバーリハビリ体操の**効果をPR**し、
 - ・シルバーリハビリ体操教室参加者の増加
 - ・体操教室開催回数の増加
 - ・体操教室の新規立上げ を目指す。
 - (3) 効果検証の内容について
検証内容等については、今後も部会内で検討を進めていく。

歩いて通える範囲で、
週1回以上、
シルリハ体操教室開催



今後のつどいの場参加/不参加（介護予防）効果調査について





介護予防にも、生活支援にも「通いの場」は重要な地域の資源

介護 予防

本人の**自発的**な**参加意欲**に基づく、**継続性**のある、
効果的な**介護予防**を実施していくこと

通いの場（つどいの場）

生活 支援

地域における**自立**した**日常生活**を実現するために、
地域の**多様な主体**による**多様な生活支援**を地域の中で確保し、
介護専門職は身体介護を中心とした**中重度支援**に**重点化**を進める。



仲間意識が生まれたことにより、

- ①来なかった人の家にみんなで訪問したら、たまたま、家の中で倒れていたのを発見！
- ②買い物が難しい方の、買い物をボランティアで代行。

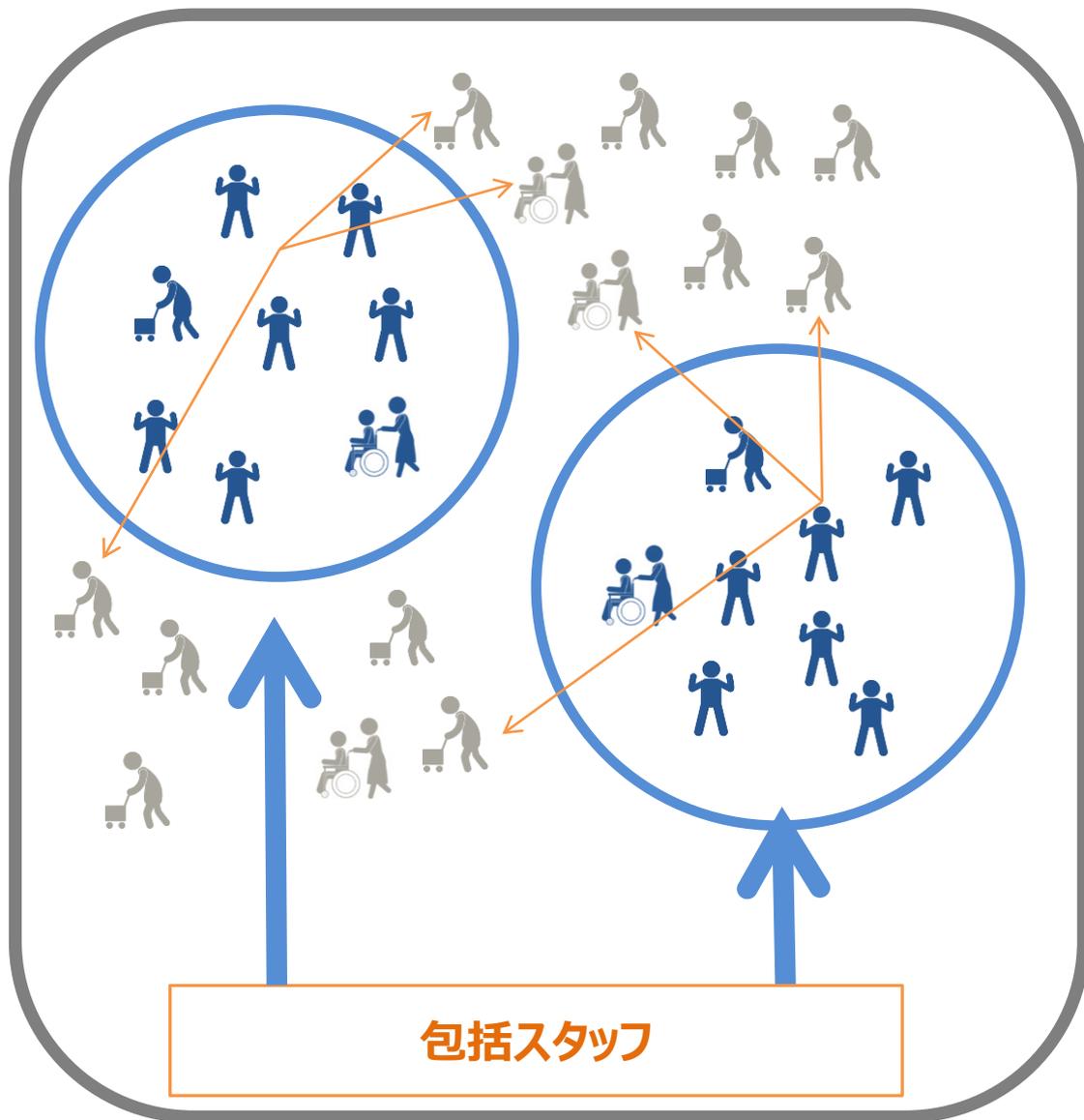
地区内に集会所がないので、
中学校が“つどいの場”です。

学校のご理解とご協力のもと、
給食も食べています！





つどいの場の狙い 早期発見・把握～介護予防～重篤化を防ぐ



STEP 1

つどいの場へ、基本チェックリストを年に1回、“おでかけ”で取りに行き、参加者の健康把握に努める。

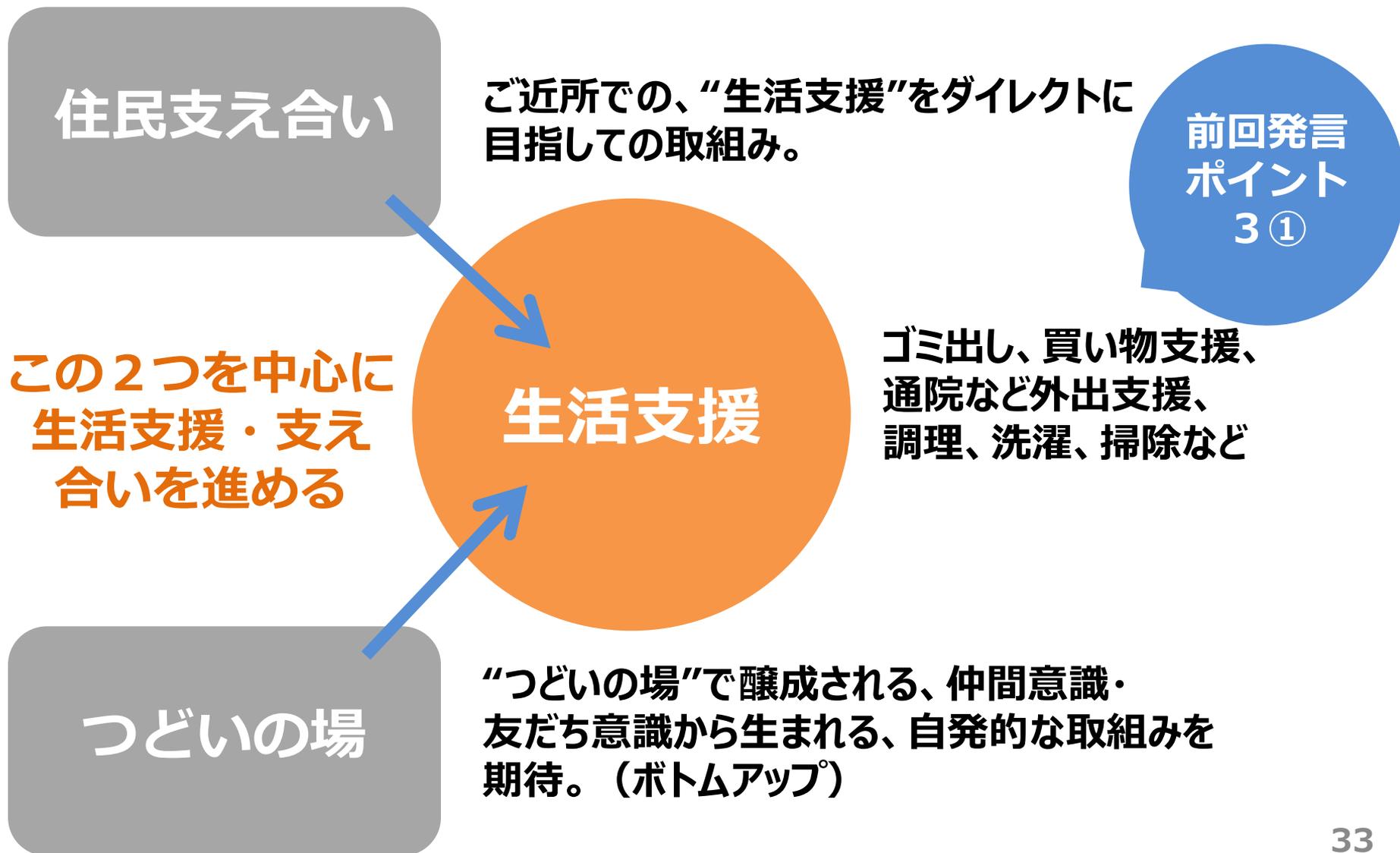
STEP 2

つどいの場に来ていない人で、近所に「心配な人」「気になる人」がいないか、情報収集に努める。

↓
必要に応じ、個別訪問。



住民支え合い活動と“つどいの場”のアプローチ・イメージ





住民主体型（住民支え合い活動）

第3層協議体活動状況（いわき市社会福祉協議会実施）

地区	実施（予定）サービス	登録サポーター数
平 城山	買い物代行、電球交換、掃除、困りごと相談、書類整理など	33
平 鎌田	声かけ、買い物、電球交換、ごみ出し・分別、つどいの場の運営など	24
小名浜 玉川町西区	安否確認、ごみ出し、買い物、重い物移動、畑作・除草など	22
小名浜 永崎	見守り・声かけ、買い物代行、ごみ出しなど	18
勿来 南台	庭木の手入れ、草引き、窓拭き、重い物の移動（ごみ出し）、つどいの場の運営など	25
田人 入旅人大字区	買い物代行、つどいの場の案内・送迎・運営、入旅人あんしんカードなど	29
常磐 下船尾	買い物代行、ごみ出し、窓拭き・電球交換、障子の張り替えなど	30
遠野 上根本	定期訪問（声かけ）、庭先や墓周りの掃除、重い物の移動、移動サロンの運営など	8
内郷 高坂9区	声かけ・傾聴訪問、つどいの場の運営、意見箱、通院付き添い、薬受け取りなど	14
好間 田代・沼平	個人宅サロンの運営、見守り・声かけなど	8
三和 上市萱	個人宅サロンの運営、生活支援全般、回覧板の引き取り、話し相手など	13
四倉 新町	庭木の手入れ・草引き、家電製品の組立て、つどいの場の運営など	27
久之浜大久 西町1区	見守り・声かけ、ごみ出し、重い物の移動、買い物代行など	19
小川 塩田	公民館サロン、声かけ訪問、草刈り・木の片付け、買い物代行など	26
川前 山下	見守り・声かけ、介護予防サロンなど	5

(平成30年1月31日現在)



住民主体型（住民支え合い活動）

第2層協議体開催状況

地区	第1回	第2回	第3回
平	7/28	11/27	2/26
小名浜	7/28	11/28	2/28
勿来	7/21	11/16	2/28
田人	7/26	11/29	2/27
常磐	7/24	11/14	2/20
遠野	7/19	11/20	2/16
内郷	7/26	11/29	2/16
好間	7/21	11/28	2/21
三和	7/19	11/15	2/27
四倉	7/31	11/29	2/22
久之浜大久	7/28	11/28	2/27
小川	7/26	11/29	2/23
川前	7/28	11/25	2/21

【協議体において出された主な意見】

- 移動販売などの生活支援サービスがリスト化されていると活用もしやすいだろう。
- 既存の組織を上手く活用しながら、ごみ出し支援などの新たな活動に取り組めるとよい。
- 多世代の交流の重要性。
- 民生委員の負担が大きいので、隣組長などがそれを支えるような形で見守りに取り組めるとよい。

【今後の予定】

- 現在取りまとめ中である地域ニーズ調査から見えてきた地域の現状や課題から、その対応策について検討を進めることで、地域ごとに必要な生活支援に取り組むグループの立上げや組織化を支援していくなど、新たな担い手の養成に努めながら、支え合い活動の必要性などについて周知を図る。



支え合いの今後の展開

【H27・28】

モデル事業

- 15地区をモデル地区に選定し、住民支え合い活動の創出を支援

【H29 今年度】

第2層協議体設置・開催

- 13圏域に第2層協議体を設置し、現状と課題の抽出、対応策の検討に取り組む

【H30～】

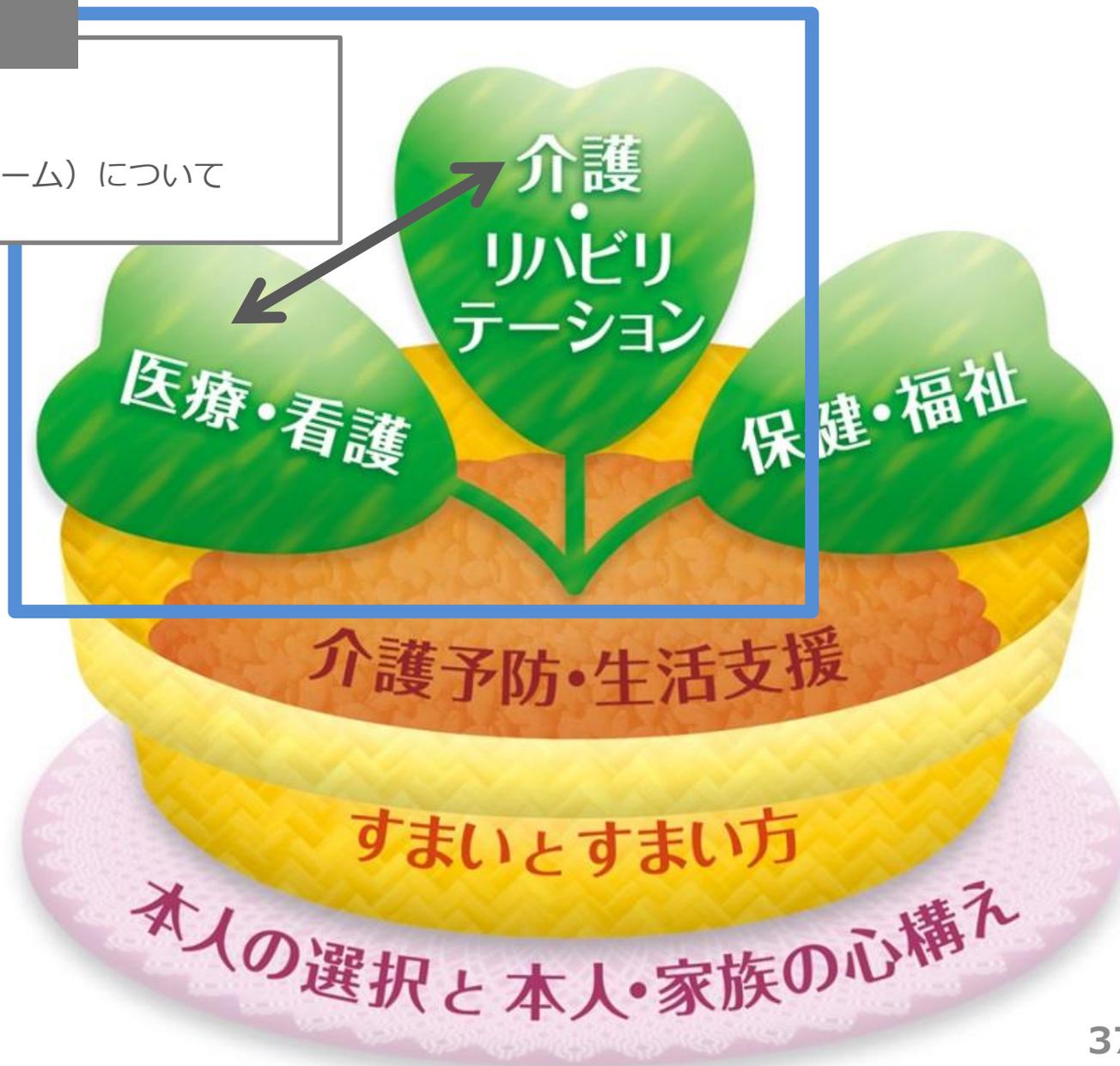
第3層の創出 人材の発掘・養成

- 抽出された現状と課題を踏まえた形で、サポーター養成研修を開催し、生活支援コーディネーターが生活支援ニーズとサポーターのマッチングに取り組む
- 第2層協議体は現状と課題の抽出、対応策の検討に引き続き取り組みながら、養成されたサポーターを取りまとめ、その有効な活用を検討する。



①医療と介護の連携

- ア) 退院調整ルール
- イ) 認知症（初期集中支援チーム）について





ときどき入院
ほぼ在宅



退院時、病院→ケアマネ連絡の有無アンケートの結果

いわき市

ルール策定前 (H28. 7・8月)	ルール運用半年後 (H29. 7・8月)
-----------------------	-------------------------

53.6% ⇒ **62.8%**

県中

ルール策定前 (H27. 5月)	ルール運用半年後 (H28. 8月)	ルール運用 1年半後 (H29. 8月)
---------------------	-----------------------	----------------------------

70.9% ⇒ **76.4%** ⇒ **81.4%**

病院とケアマネがさらに連携を進めるために、運用評価会議を開催



医療と介護連携促進部会

【第2回会議】

1 日程：平成30年1月23日（火）

2 内容

報告事項

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業の取組み状況
- (2) 中地域ケア会議等における取組み状況
- (3) 情報共有の支援について
- (4) 在宅医療・介護連携相談支援センターについて

協議事項

- (1) 医療と介護資源の把握について
- (2) 医療と介護連携推進に係る課題の整理について

在宅医療出前講座

(上段：平地区 下段：常磐・遠野地区)



【協議内容】

1 医療と介護資源の把握

⇒昨年度実施した調査結果を報告。公表に関する意向調査で回答の不備が多いため、年度内のリスト公表に向けて再調査を行うこととした。

2 医療と介護連携推進に係る課題の整理

⇒平成27年度に抽出した課題の進捗状況などを確認し、課題を再整理し、その対応策や成果指標などについて、今後協議していくこととした。

※ 次回部会 平成30年3月28日（水）予定



在宅医療関連事業報告・懇親会

日時：平成30年1月25日（木）19:00～

場所：クレールコート

医師28名や推進会議メンバーのほか、約100名の多職種が参加。医師会が中心になり事業を進めている「多職種研修会」「いわき在宅医療ネットワーク」「在宅医療出前講座」「医療介護いわき学校」について、医師会・行政・リハビリ職から報告。





認知症初期集中支援チームについて（厚生労働省資料より）

【目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

【認知症初期集中支援チームとは】

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

配置場所

地域包括支援センター等

診療所、病院
認知症疾患医療センター
市町村の本庁

認知症初期集中支援チームのメンバー



【対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人とする。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人

- (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
- (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人 (エ) 診断されたが介護サービスが中断している人

◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している



高齢者生活安全部会

【第3回会議】

1 日程：平成30年1月31日（水）

2 内容

(1) 認知症あんしんガイドの改訂について

・認知症に関する正しい知識の普及啓発と、認知症の症状に合わせて利用できる医療や介護のサービスの標準的な内容を示した「認知症あんしんガイド」の改訂版の検討を行う。3月中旬に10,000部を作成予定。

(2) 認知症初期集中支援チームについて

市医師会、市薬剤師会、市作業療法士会の協力により、チーム体制強化が図られた。

新チームにおける、各職種の役割等について協議。

(3) (仮称) 認知症サポーター上級講座について

認知症サポーターに対し、復習の機会と更なる学習の場として、(仮称) 認知症サポーター上級講座のカリキュラム等について協議。



前回発言
ポイント
4

認知症初期集中支援チーム体制の拡充

認知症初期集中支援チーム対応フロー(案)

認知症疾患医療センターでのチーム員会議 月1回程度

認知症疾患医療センター
チーム員: 認知症専門医

【役割】

- ・チーム員会議での医学的アドバイス
- ・対応困難事例の検討
- ・入院処置対応

地域包括支援センター
チーム員: 保健師・精神保健福祉士

【役割】

- ・訪問支援
- ・チーム員会議

市薬剤師会
チーム員: 薬剤師

【役割】

- ・チーム員会議での服薬等アドバイス

連携

支援対象者

市医師会
チーム員: 認知症サポート医

【役割】

- ・チーム員会議での医学的アドバイス (随時実施)
- ・必要に応じて往診対応(往診対応可能な医師)
- ・認知症疾患医療センターで対応が必要な方をセンターへつなぐ

- ・訪問支援(包括+看護師又は作業療法士)
- ・チーム員会議(訪問支援者+医師)
- ・必要に応じて医師の往診対応(チーム員と同行訪問)

看護協会いわき支部
チーム員: 看護師

【役割】

- ・訪問支援 (健康状態等のアセスメント)
- ・チーム員会議

市作業療法士会
チーム員: 作業療法士

【役割】

- ・訪問支援 (生活機能面でのアセスメント)
- ・チーム員会議

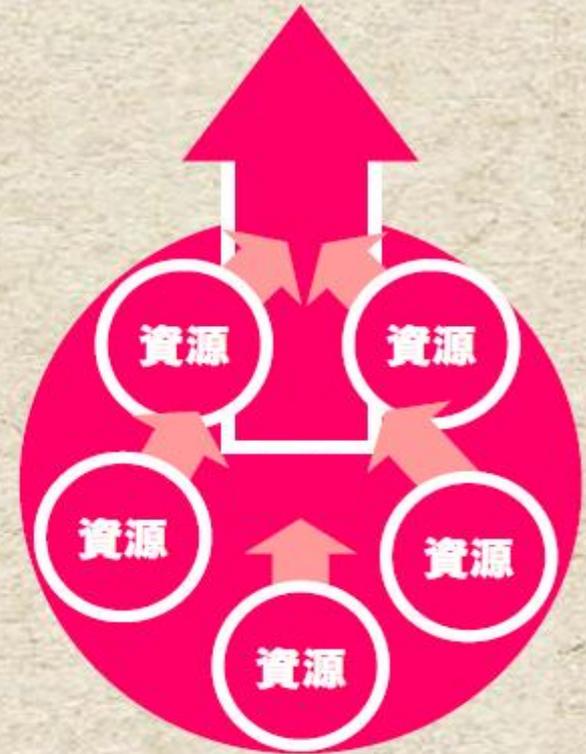
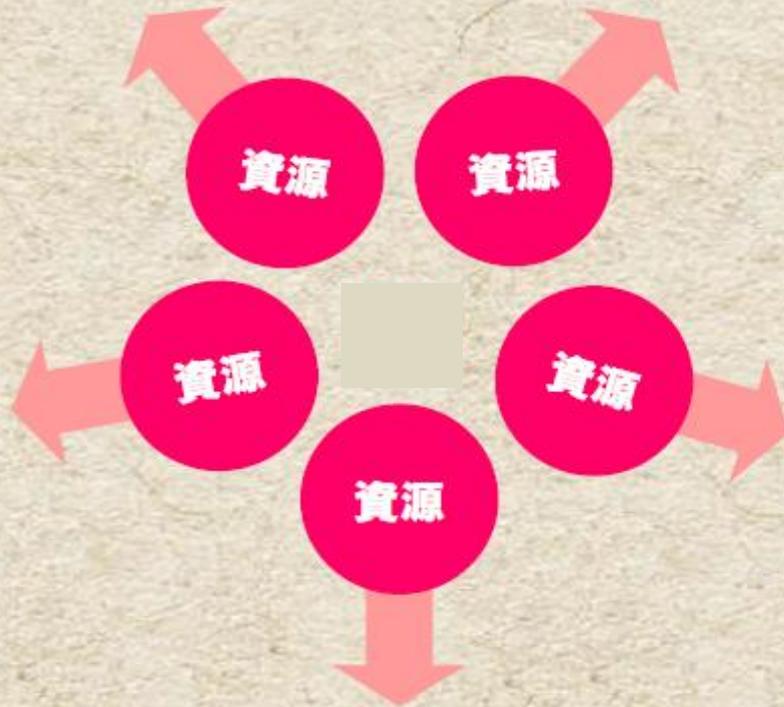
※ 訪問支援しているチーム員が、必要に応じて医学的なアドバイスを受けるため、認知症サポート医に依頼し、個別カンファレンスを実施する。
この会議をチーム員会議と位置づける。

・新チームの体制で今年度中に活動を始める予定。



それぞれが取組み、
それぞれが発信
でも、バラバラ

より大きな力に



【これまで】

【これから】

それぞれが頑張ってる。

方向性を合わせる
力を合わせる